

令和4年度第2回座間市社会教育委員会議会議録

会議の名称	令和4年度第2回座間市社会教育委員会議会		
開催日時	令和4年7月20日(水) 10時00分～12時00分		
開催場所	座間市役所庁舎 5-2会議室		
出席者	大串議長、小池副議長、峰尾委員、小多喜委員、乾委員、赤羽委員 浦委員		
事務局	安部スポーツ課長、市嶋青少年課長、飯田図書館長 吉野生涯学習課長、淀川副主幹兼生涯学習係長、河野生涯学習係主事		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題	1. 経過報告と今後の事業について 2. 神奈川県社会教育委員連絡協議会総会(報告)について 3. 研究テーマについて その他 1. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会第1回理事会について 2. (仮称)座間市生涯学習プラン策定委員の選任について		
資料の名称	資料1. 第2回座間市社会教育委員会議会経過報告 資料2. 月間行事予定表 資料3. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会 総会 資料4. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会第1回理事会 資料5. 第53回関東甲信越静岡社会教育研究大会 山梨大会 資料6. 「社会教育委員活動のためのハンドブック」(2022年版)の生涯学習課ホームページ掲載について		
会議の結果			
研究テーマについて 対象は、年配の方に絞る方向に。研究内容の詳細は次回会議から検討していく。			

議事の概要（又は詳細）

1. 経過報告と今後の事業について（資料1・2）

生涯学習課長：資料1について説明。

大 申 議 長：図書館協議会には浦委員が出席した。

図 書 館 長：協議会では、主に、予算報告や事業報告を行った。

生涯学習課長：資料2について説明。

図 書 館 長：7月23日（土）親子夏休み学習応援講座は、講師が濃厚接触者とされたため、中止となった。

乾 委 員：暮らしの実用講座「コロナ禍の終活」とはどのような内容か。

生涯学習課長：高齢者を対象とした講座である。楽しく、終わりを迎えるにはどうしたら良いか、という前向きな内容の講座になっている。

乾 委 員：相互提案型協働事業（アートステージ）出前講座の内容はどのようなものか。

生涯学習課長：アートステージという市内で活動している団体と共に、芸術を介して、障害がある方や支援が必要な方たちを対象に、一緒に作品を作ることで変化をもたらすことや、きっかけづくりになることを期待した講座を行っている。年末には、そういった方々を対象にした展示会も開催する。

大 申 議 長：8月8日（月）家庭教育委託事業のおやとも会とはどのような団体か。

└開催日8月4日（木）に訂正

生涯学習係長：本来座間公民館で毎年、親と子が共に育つ教室という学級を行っており、その卒業生で主に構成された団体である。

小 多 喜 委 員：8月17日（水）から4回連続でレッツエンジョイダンスという事業を実施されるが、事業の趣旨はどのようなものか。

青 少 年 課 長：ダンスサークルの指導者を呼び、小学生を対象に一つの作品を作る。練習を重ねて、最終的には8月21日（日）のひまわりらんど内で発表をする。

乾 委 員：8月4日（木）まちづくり人づくり講座「改めて知ろう、ヤングケアラーとは」の内容はどのようなものか。ヤングケアラーとなる人を減らそう、などということではなく、ヤングケアラーの存在を周知するための講座、知るきっかけとなる講座ということか。

生涯学習課長：そのとおり。

小池副議長：7月19日（火）市民プール開放とあるが、市民プールの数、小学校関係の市民プールや民間プールの利用状況は、現状どのようになっているのか。

スポーツ課長：ほとんどの小学校が市民プールを使用している。栗原小は最寄りの栗原プールが現在利用できない為、近くの協栄プールを利用して授業を行っており、移動はバスを利用している。

～スポーツ課長、青少年課長、図書館長 退席～

2. 神奈川県社会教育委員連絡協議会総会について（報告）（資料3）

大 申 議 長：神奈川県教育委員会が重点を置いている事業として、地域学校協働活動が挙げられていた。座間市はこれに関してどのような取り組みをしているか

生涯学習係長：コミュニティスクールの設置は進んでいるが、地域学校協働活動はまだ取り組みを始めていない。

生涯学習課長：現時点では、どのように取り組んでいくか、という検討を始めたばかりという市町村が多い。

大 申 議 長：令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会について、事務局に通知は来ているか。

生涯学習係長：来ていないため、通知がきたら各委員に連絡する。毎年2～3名出席している。

大 申 議 長：本協議会に出席した、峰尾委員、浦委員から何か報告はあるか。

峰 尾 委 員：会長の小池茂子氏は、講演ではいきいきと話されて、さすが、大学の教授だと感心した。非常に聞きやすい講演であった。

浦 委 員：講演の終盤、時間が足りなくなってしまっていたが、社会教育委員と生涯学習の関わり方など、内容が分かりやすかった。予算の報告もあったが、コロナ禍の影響で支出が抑えられているという報告があった。

3. 研究テーマについて

大 申 議 長：ここ数年子どもを対象に研究を続けていたので、対象を大人や高齢者に移してもいいかもしれない。

小池副議長：子育て世代や障がい者を対象にするなら、該当する団体があるので情報を聞き取ることができる。

生涯学習課長：本市は地域学校協働活動について勉強をしている段階という立場から見ると、地域についての研究は難しいと思う。対象の年代を明確にしてテーマを決めた方が、調査がしやすいと思う。

小池副議長：最近はスカイグリーンパークのパークゴルフ場や相模川河川敷沿いにもゴルフ場ができた。そこに集まる人たちなどに、年配の方々が家に閉じこもらずに、どういう活動をしているか、など話を聞くことができそうだ。

乾委員：年配の方がどのような未来像を描いているのか、非常に興味がある。

赤羽委員：生涯学習課ではあらゆる講座を行っているが、企画の段階で意識していることはあるか。

生涯学習課長：公民館、北地区・東地区文化センターは地域課題に沿った内容を意識して企画をしている。

赤羽委員：そのようなことも一つの参考になるのではないか。

小池副議長：サポートセンターの登録団体に指標を作ってみてもいいかもしれない。団体の活動内容ごとに、年配の方の活動場所や、その団体に若い方が加入する可能性があるか、などを研究する。年配の方の引きこもりをなくす、ということの研究するのはどうか。サークルなどの団体に加入して楽しんでいるのは、子どもよりも年配の方が多い。

大串議長：子どもの場合は、学校が基礎にあるから居場所も作られる。しかし、年配の方はその基礎となる活動場所が無いこともあり、自宅に閉じこもりやすいと思う。

小池副議長：会社を辞めた後、地元に戻ったものの知り合いがおらず、活動する場が無いという状況になる方もいる。サポートセンターにも、自分にあったサークルを探しに来られる方もいるが、人数的にはわずかである。残りは、自治会に入るか、公民館などを訪れるか。興味があるサークルに声を掛ける、ということもハードルが高いように見える。

大串議長：今出た意見を整理すると、対象は年配の方に絞る方向が良いと思う。次回の会議から、詳細を検討していければと思う。

4. その他（資料4～6）

生涯学習係長：資料4～6について、案内があったので配布している。内容ご確認いただきたい。また、(仮称)座間市生涯学習プラン策定委員の選任について8月中旬に第1回の会議開催を検討しており、会議の回数は全5回を想定している。来年1月初旬に5回目の会議が終了する予定である。社会

教育委員会からも1名選出いただきたいのだが、出席を希望する方はいるか。いらっしゃらなければ、策定委員を議長にお願いしたいのだがよろしいか。

大 串 議 長：引き受ける。

【次回会議 9月21日（水）10時～ 市庁舎 5-2会議室】